



平成31年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年11月6日

上場会社名 ユニプレス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5949 URL https://www.unipres.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役 社長執行役員 (氏名)吉澤 正信
 問合せ先責任者 (役職名)経理部長 (氏名)斉藤 直樹 (TEL) (045) 470-8631
 四半期報告書提出予定日 平成30年11月7日 配当支払開始予定日 平成30年12月3日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第2四半期の連結業績 (平成30年4月1日～平成30年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第2四半期	162,988	△0.1	9,743	△27.9	10,034	△28.8	6,023	△25.7
30年3月期第2四半期	163,169	10.4	13,515	45.7	14,097	86.8	8,107	112.2

(注) 包括利益 31年3月期第2四半期 3,584百万円 (△69.0%) 30年3月期第2四半期 11,549百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第2四半期	125.81	125.64
30年3月期第2四半期	169.60	169.19

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第2四半期	242,154	156,416	60.4
30年3月期	246,779	154,678	58.5

(参考) 自己資本 31年3月期第2四半期 146,148百万円 30年3月期 144,266百万円

(注) 「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、30年3月期の総資産及び自己資本比率につきましては、遡及適用後の数値を記載しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	22.50	—	32.50	55.00
31年3月期	—	27.50	—	—	—
31年3月期(予想)	—	—	—	27.50	55.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の連結業績予想 (平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	320,000	△3.3	24,000	△7.9	24,500	△7.4	15,000	△6.0	313.29

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

31年3月期2Q	47,917,073株	30年3月期	47,866,573株
② 期末自己株式数	33,080株	30年3月期	33,080株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	47,875,176株	30年3月期2Q	47,805,912株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいておりその達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、〔添付資料〕2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報」の「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループの当第2四半期連結累計期間の連結業績は、売上高につきましては、円安に伴う為替影響等はあったものの1,629億円（前年同期比1億円減、0.1%減）となり、営業利益は97億円（同37億円減、27.9%減）となりました。経常利益は前年同期の為替差益が差損に転じたこと等により100億円（同40億円減、28.8%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は60億円（同20億円減、25.7%減）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① 日本

得意先の減産影響により、売上高は490億円（前年同期比43億円減、8.1%減）となったものの、セグメント利益（営業利益）は合理化効果等により44億円（同2億円減、6.0%減）となりました。

② 米州

得意先の減産影響等により売上高は486億円（同36億円減、7.1%減）となり、セグメント利益は10億円（同26億円減、71.2%減）となりました。

③ 欧州

為替影響等により、売上高は206億円（同21億円増、11.6%増）となり、セグメント利益は7億円（同5千万円減、6.5%減）となりました。

④ アジア

為替影響等により売上高は446億円（同56億円増、14.6%増）となったものの、セグメント利益は急激な増産に対応する費用の発生もあり40億円（同2億円減、5.0%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、たな卸資産が11億円増加したものの、現金及び預金が59億円減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ46億円減の2,421億円となりました。

負債につきましては、支払手形及び買掛金が80億円減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ63億円減の857億円となりました。

純資産につきましては、利益剰余金が44億円、退職給付に係る調整累計額が5億円それぞれ増加したものの、為替換算調整勘定が32億円減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ17億円増の1,564億円となりました。自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ1.9ポイントプラスの60.4%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、運転資本が増加したものの、税金等調整前四半期純利益や減価償却費等により67億円の収入（前年同期比32億円の収入減）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、米州、アジアを中心とした固定資産の購入等により116億円の支出（同23億円の支出増）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、主として配当金の支払い等により28億円の支出（同46億円の支出減）となりました。

これらに為替変動の影響を加えた結果、現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ85億円減の228億円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年3月期の連結業績予想につきましては、概ね予想の範囲内で推移していることから、平成30年5月10日に公表いたしました予想を変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	32,788	26,798
受取手形及び売掛金	54,249	53,739
たな卸資産	24,089	25,229
その他	9,188	9,913
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	120,315	115,680
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	27,829	27,782
機械装置及び運搬具（純額）	51,654	49,548
土地	7,719	7,211
建設仮勘定	11,866	13,454
その他（純額）	12,756	11,933
有形固定資産合計	111,826	109,931
無形固定資産		
投資その他の資産	2,591	2,690
投資有価証券	6,333	7,105
その他	5,720	6,756
貸倒引当金	△8	△9
投資その他の資産合計	12,045	13,852
固定資産合計	126,464	126,473
資産合計	246,779	242,154
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	36,751	28,680
電子記録債務	3,584	3,257
短期借入金	11,830	12,157
未払法人税等	2,046	3,462
賞与引当金	3,203	2,861
その他の引当金	114	52
その他	17,162	18,942
流動負債合計	74,694	69,415
固定負債		
長期借入金	1,313	1,231
その他の引当金	225	228
退職給付に係る負債	9,733	9,092
その他	6,134	5,769
固定負債合計	17,407	16,321
負債合計	92,101	85,737

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,080	10,116
資本剰余金	13,427	13,463
利益剰余金	131,655	136,122
自己株式	△22	△22
株主資本合計	155,140	159,681
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△130	△98
為替換算調整勘定	△3,003	△6,258
退職給付に係る調整累計額	△7,739	△7,176
その他の包括利益累計額合計	△10,874	△13,533
新株予約権	55	35
非支配株主持分	10,356	10,233
純資産合計	154,678	156,416
負債純資産合計	246,779	242,154

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
売上高	163,169	162,988
売上原価	136,878	140,436
売上総利益	26,291	22,552
販売費及び一般管理費	12,775	12,808
営業利益	13,515	9,743
営業外収益		
受取利息	396	496
受取配当金	39	36
為替差益	389	—
受取賃貸料	148	170
その他	163	246
営業外収益合計	1,138	949
営業外費用		
支払利息	303	260
貸与資産減価償却費	89	103
為替差損	—	97
持分法による投資損失	86	127
その他	78	69
営業外費用合計	557	658
経常利益	14,097	10,034
特別利益		
固定資産売却益	48	29
新株予約権戻入益	1	1
特別利益合計	50	31
特別損失		
固定資産処分損	199	91
減損損失	626	—
特別損失合計	826	91
税金等調整前四半期純利益	13,321	9,974
法人税等	4,175	3,467
四半期純利益	9,146	6,506
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,038	483
親会社株主に帰属する四半期純利益	8,107	6,023

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
四半期純利益	9,146	6,506
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	12	33
為替換算調整勘定	2,205	△3,183
退職給付に係る調整額	177	563
持分法適用会社に対する持分相当額	8	△334
その他の包括利益合計	2,403	△2,921
四半期包括利益	11,549	3,584
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	9,740	3,364
非支配株主に係る四半期包括利益	1,808	220

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	13,321	9,974
減価償却費	9,158	9,051
賞与引当金の増減額(△は減少)	△20	△338
受取利息及び受取配当金	△436	△532
支払利息	303	260
持分法による投資損益(△は益)	86	127
固定資産処分損益(△は益)	151	62
減損損失	626	—
売上債権の増減額(△は増加)	△2,679	△321
たな卸資産の増減額(△は増加)	△3,404	△1,173
仕入債務の増減額(△は減少)	△3,480	△7,789
未払金の増減額(△は減少)	△956	△1,367
その他	1,226	1,458
小計	13,896	9,410
利息及び配当金の受取額	476	559
利息の支払額	△303	△260
法人税等の支払額	△3,998	△2,932
営業活動によるキャッシュ・フロー	10,070	6,777
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額(△は増加)	1,085	△2,648
有形固定資産の取得による支出	△9,349	△8,207
有形固定資産の売却による収入	77	678
無形固定資産の取得による支出	△170	△451
関係会社株式の取得による支出	△1,137	△1,263
その他	140	237
投資活動によるキャッシュ・フロー	△9,353	△11,655
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△1,229	△216
長期借入金の返済による支出	△4,104	△205
リース債務の返済による支出	△752	△590
株式の発行による収入	44	54
配当金の支払額	△1,314	△1,555
非支配株主への配当金の支払額	△169	△343
その他	△55	△31
財務活動によるキャッシュ・フロー	△7,582	△2,889
現金及び現金同等物に係る換算差額	828	△766
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△6,037	△8,534
現金及び現金同等物の期首残高	33,167	31,399
現金及び現金同等物の四半期末残高	27,129	22,864

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(会計方針の変更)

IFRS第9号「金融商品」の適用

米国を除く在外連結子会社において、第1四半期連結会計期間よりIFRS第9号「金融商品」を適用しております。当該会計基準の適用が当第2四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

IFRS第15号「顧客との契約から生じる収益」の適用

米国を除く在外連結子会社において、第1四半期連結会計期間よりIFRS第15号「顧客との契約から生じる収益」を適用しております。当該会計基準の適用が当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

また、本会計基準の適用に伴い、四半期連結貸借対照表の表示方法を変更しております。

この結果、従来の会計基準を適用した場合と比較して、当第2四半期連結累計期間の四半期連結貸借対照表において、「売掛金」が2,001百万円増加し、「流動負債」の「その他」に含まれております「返金負債」が2,001百万円増加しております。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

これに伴い、前連結会計年度の連結貸借対照表は当該会計基準の改正等を遡って適用した後の数値となっております。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	日本	米州	欧州	アジア	計		
売上高							
外部顧客への売上高	53,385	52,336	18,513	38,933	163,169	—	163,169
セグメント間の内部売上 高又は振替高	9,645	34	0	1,102	10,783	△10,783	—
計	63,031	52,370	18,513	40,036	173,952	△10,783	163,169
セグメント利益又は損失 (△)	4,722	3,756	786	4,256	13,520	△4	13,515

(注) 1. 調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「欧州」セグメントにおいて、当社の連結子会社であるユニプレスロシアの固定資産について減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間において626百万円であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成30年4月1日至平成30年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	日本	米州	欧州	アジア	計		
売上高							
外部顧客への売上高	49,056	48,642	20,655	44,633	162,988	—	162,988
セグメント間の内部売上 高又は振替高	13,069	46	0	1,188	14,304	△14,304	—
計	62,126	48,688	20,656	45,822	177,292	△14,304	162,988
セグメント利益又は損失 (△)	4,440	1,083	735	4,042	10,302	△558	9,743

(注) 1. 調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。